めぐり めぐる

No.82 2022.12
WE21 ジャパン News
世界とつながる × 地域にひろげる

人がつながる 想いがかけめぐる

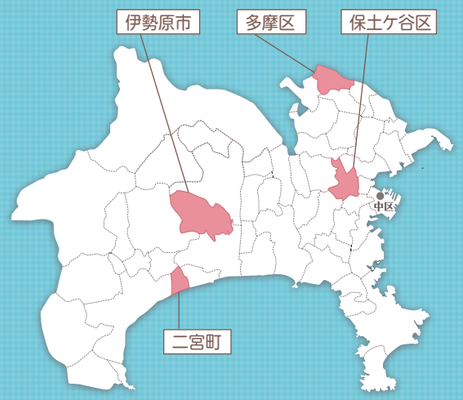
始まりは「人を慮（おもんぱか）るエネルギー」

WEショップでつながる人とのつながりから始まり・広がる

頻繁に起きる大規模な自然災害、感染症による世界的なパンデミック、内戦、テロ…。
人は不安や危機から逃れ、安心安全な暮らしを求めています。

それは日々の生活の中で、人と人が出会い、共鳴したり、違いを認め合ったりしながら信頼し合えるつながりを作っていくことで、実現できることではないでしょうか。

「誰かのため・何かのため」に手間を惜しまず地域の課題を解決しようと行動する「人」たちのところには自然と、また「人」が集まります。



WEショップ いせはら店

若い人たちと一緒に

WEショップいせはら店は、行政のイベントや町内会のお祭りなどに参加したり、地域でさまざまな活動をしています。養護学校との交流も10年続いていて、週2日2名ずつ、インターンシップ実習生として高校生を受け入れています。

- **2002年開店**
- **ボランティア数** 20人 / 月平均
- **2021年度売り上げ** 5,248,440円
- **お客様** 8,720人
- **寄付数** 1,991件

小田急線愛甲石田駅から徒歩5分。すぐ近くにはスーパーやパン屋さんがあります。明るくて広い店内は、買い物途中に思わず入りたくなる楽しいショップです。

10年前、養護学校の先生が直接、WEショップいせはら店に来店されました。「学校から歩いて行けるところで生徒たちに職場体験をさせたい」とのことで、“私たちで協力できることなら”と引き受けました。はじめはお互いに戸惑いましたが、今では一人ひとりにあった仕事を頼むことができ、楽しく作業しています。（WEショップいせはら店　浜田）

いせはら店の他に、近所のスーパーでも実習生を受け入れています。養護学校の先生は、「生徒たちが卒業した後も困らないように社会に慣れさせたい」と話していました。実習生たちの成長を見守りながら、「伊勢原」が誰もが安心して暮らせるまちになるように、私たちのできることを続けていこうと思っています。
（WEショップいせはら店　覚知）

WEショップいせはら店の皆さん

WEショップ たま店

水と暮らしと人権を守る

- **2001年開店**
- **ボランティア数** 15人 / 月平均
- **2021年度売り上げ** 3,144,088円
- **お客様** 4,246人
- **寄付数** 1,265件

JR中野島駅から徒歩5分。マンション群の一角にあります。ショップの奥には広い集会室があり、地域の人たちのさまざまな集まりにも使われています。

WEショップたま店は2016年に閉鎖された『生田浄水場（川崎市多摩区）』の再開を求め活動している「川崎の安全でおいしい水道水を守る会」を応援しています。水の安全を守ることは地域の人びとの生活に直結します。

WEショップたま店の皆さん

豊富な地下水源を有する生田浄水場は水質もよく、海外から視察団が訪問するほどです。また災害時にも水の確保がしやすく、地域の大事な水の供給源でした。自分たちの生活を地域に暮らす私たちで、守りたいと思っています。
（WEショップたま店　鈴木）

数年前には川の水質調査にも同行しました。WEショップたま店は、他にも福島原発の被災者の住居支援をしています。私たちは人権を守るために動く市民を応援しています。
（WEショップたま店　井上）

川の水質調査

WEショップ ほどがや天王町店
WEショップ ほどがや星川店

〈ほどがや天王町店〉
- **2003年開店**
- **ボランティア数** 21人 / 月平均
- **2021年度売り上げ** 5,038,854円
- **お客様** 6,717人
- **寄付数** 1,463件

天王町店 相鉄線天王町駅から徒歩7分。ショップはテレミン商店街にあり、少し先には松原商店街もあります。昔からにぎやかな町です。

〈ほどがや星川店〉
- **2000年開店**
- **ボランティア数** 13人 / 月平均
- **2021年度売り上げ** 5,047,648円
- **お客様** 6,216人
- **寄付数** 1,057件

星川店 相鉄線星川駅から徒歩7分。着物コーナーを常設していて、着物リメイク品もあり種類が豊富です。

地産地消で保土ケ谷を盛り上げよう

WEショップほどがや天王町店・星川店は、区内の農家が育てた野菜を週に一度店頭で販売しています。“地元の野菜に触れる機会を増やしたい”と、保土ケ谷区の地産地消講座に参加した有志で始まった『ほどがや産直便』の「朝市街道」の取り組みです。

保土ケ谷区は昔から農業の盛んな地域で、北海道産のじゃがいも「キタアカリ」の種芋は、実は保土ケ谷区から全国に出荷されていました。美味しい野菜、こだわりの商店、元気な市民で地域をつくっています。

約15年前に仲間を集めて『ほどがや産直便』を立ち上げ、野菜直売所マップを作ることから始めました。それ以来、区と一緒に朝市を開催したり、お弁当屋さんと一緒に『ほどがや弁当』を企画したりと活動しています。
（WEショップほどがや天王町店　渡邉）

WEショップほどがや天王町店の皆さん

毎週火曜日の朝、3軒の農家さんが週替わりで色々な野菜をWEショップに届けてくれます。野菜を楽しみに来店される方も増えました。地元で採れた野菜を販売することも、地域の資源循環活動の一つだと思っています。
（WEショップほどがや天王町店 黒木）

農家の方が直接商店街を回って届けてくれます

WEショップ にのみや店

- **1998年開店**
- **ボランティア数** 8 人 / 月平均
- **2021 年度売り上げ** 5,032,360 円
- **お客様** 6,062 人
- **寄付数** 1,775 件

JR 二宮駅から徒歩 15分。山あり海あり畑ありの豊かな自然に囲まれた二宮町の、誰でも気軽に寄れるおしゃべりスポット的存在です。

◆ 二宮町で“人”から生まれる地域のつながり

二宮町は人口約2.7 万人、小高い山と相模湾に囲まれた自然豊かな土地で、都会からの移住者が多く「移住」をきっかけに新しいことを始めたいと行動を起こす人が集まっています。

WE ショップにのみや店は街の中に広がる「二宮町を良くしたい」という思いの輪の中で、地域と連携して活動しています。

二宮町にはさまざまな「思い」を持って移住する方が多く、誰かが何かを始めると、自然といろいろな人が集まってきます。例えば、町民の方が体操動画を撮ろうと考え、その衣装を WE ショップにのみや店のリユースの布地を使って、『太郎の家』の高橋さんが作ってくれたり。お互いが気にし合ってつながり、いろいろなものが生まれています。今後もまちの朝市に参加したり、WEショップとしてできることに取り組んでいきたいと思っています。
（WE ショップにのみや店　露口）

※動画は二宮町の HP で公開中

◆ 日曜朝市

駅から徒歩10分程の公園で開催。野菜や果物、町で人気のパン屋などの出店が並びます。

WEショップにのみや店も雑貨やフェアトレード品の出店で、定期的に参加しています。

◆ みんなの居場所『太郎の家』

大人も子どももワークショップに参加

みんなの居場所『太郎の家』は 6 年前に二宮町に移住してきた高橋さんが“家主” を務めています。「ちょっと『太郎の家』に行ってくるね」と気軽に訪ねられる、近所の友だちやおばあちゃんの家のような場所にしたいという思いが込められています。

『太郎の家』家主の高橋孝世さん

「『太郎の家』での過ごし方は子どもも大人も全く自由です。二宮町は誰かの「やりたい」を放っておかない町。

『太郎の家』では親子向けワークショップ開催の他、何かを新しく始めたい人に場所を提供しています。例えば、オーガニックの食事を広めたいという人が料理を振舞ったり、たまたま子どもと来ていた訪問美容師のお母さんに出張美容室をしてもらったり。地域の皆が特技を活かして「やりたい」を叶えています。机やおもちゃなどは寄付してもらったり持ち寄ったりしたもので、みんなで『太郎の家』を作っています。

子どもたちが「小さい頃は『太郎の家』で遊んだね」と思い出してくれたらとても嬉しいですね」

『太郎の家』の外の様子

◆ 農ある暮らしを広める会

二宮農園で講習会

二宮町の自然に恵まれた風土を再生するために活動している『農ある暮らしを広める会』。代表の二見幸夫さんの「時代とともに失われてしまった二宮らしい暮らしの豊かさを取り戻したい」という思いに、町外から移住してきた人たちの「自然と共に暮らしたい」という思いがつながり、広がりを見せています。

『農ある暮らしを広める会』代表の二見幸夫さん

「主な活動の一つが“自分で食べる野菜は自分で育てる”ことを目指してはじめた≪二宮農園≫の運営です。風土の特性を活かした栽培で、家で食べる分だけを育て、忙しくても無理なくできる 80%の自給を実現しようとしています。それが、自然環境の再生にもなります。今の目標は参加数を 200 軒まで増やすこと。それができれば災害時の食の確保にも役立つと考えています。

そして、一番実現したいのは、高齢の方やひとり親家庭の親子に参加してもらうことです。

海辺や山の恵を享受し、里山的な自然環境の中で子どもたちが育っていけるように。そんな取り組みを軌道に乗せたいと思っています」

自然に囲まれた二宮農園

写真 / 鈴木純（写真館じゅんじゅん）

地域につながりの輪が広がっています

◆ 夕方マルシェ

WE ショップだけでなく、地域ではさまざまな人々がそれぞれの思い、経験、知識を活かし活動しています。2022 年 7 月から横浜市役所の2階で開催されている『夕方マルシェ』もその一つです。

主催する団体の一つの web メディア『Circular Yokohama』が WE21ジャパンと資源循環活動を通じてつながっています。

『夕方マルシェ』はコロナ禍で増加した食品ロスなどの地域課題を解決するために始まりました。横浜産の野菜を使ったお惣菜、規格外の野菜やハンドメイド製品などを販売しています。

夕方マルシェ主催者の皆さん
（左から室井さん、椿さん、野村さん、荒木さん、早乙女さん）

Woo-By.Style の野村さん
「育児や介護、障がいと両立した多様な働き方を推進しています。横浜市をよくしたいと頑張っている人はたくさんいます」

よこはまグリーンピースの椿さん、早乙女さん
「同じ思いで、組織を超えた 5 人が集まりました。“横浜野菜を楽しむ” をキーワードに、地産地消を広めていきたいです」

横浜おいしんぼエンジェルの荒木さん
「楽しむことを大事に、料理で地産地消を伝え、応援しています」

Circular Yokohama の室井さん
「取材を通して出会った、社会のために地域で活動している人と直接つながり、発信していきたいです」

お互いに連携し 最初の一歩を踏み出しませんか

地域から寄付された衣類などを販売し、その収益で飢餓や貧困に苦しむアジアの人々を支援する活動に活かす。そんな仕組みを自分たちの地域に作りたいと周囲に声をかけ、WE ショップの活動は始まりました。それぞれの地域で生活する大ぜいの市民が自分のできる範囲でできることをする。そういう人が増えれば安心して暮らせる平和な社会になる。この思いは設立当初より変わることなく引き継がれています。

今、私たちは超高齢化社会、貧困率の上昇や地域産業の衰退など多くの問題を抱えながら暮らしています。それらの問題を行政に任せきりにするのではなく、自分たちで考え、安心して生活できる地域にしていこうと行動するたくさんの人たちがいます。

環境の問題、貧困の問題、教育、商店街の再生などそれぞれの活動が連携することで豊かな地域社会を形成することが可能になります。WE ショップのある地域ではこれらの人たちと連携し、「参加と協力」の地域づくりをしていきたいと考えています。

次世代へ向けて希望の持てる市民社会をめざし、最初の一歩を踏み出しませんか。

作画：kikiyoko

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

WE21 ジャパンが取り組んでいること

貧困をなくそう　ジェンダー平等を実現しよう

つくる責任つかう責任　平和と公正をすべての人に

● WE21 ジャパンへのご支援よろしくお願いいたします ●

会員 になって活動にご参加ください

WE21 ジャパン・グループは 35 の NPO がそれぞれ会員を募集しています。また寄付金も受け付けています。

WE21 ジャパン ――― 年会費 ―――

正会員 10,000 円（個人）50,000 円（団体）
賛助会員 6,000 円（個人）10,000 円（団体）
郵便局振替 00270-9-67540（特非）WE21 ジャパン
※HP からもお申込みできます。

WE21 ジャパン地域 NPO ― 年会費 ―
1,000 円～
（地域 NPO によって金額が異なります）
※各 WE21 ジャパン地域 NPO へ直接お問い合せください。

ボランティア を募集しています

WE21 ジャパン・グループの WE ショップ（45 店舗）・事務所で活動してみませんか?

WE21ジャパン
事務所・エコものセンター・イベント・データ入力・発送・販売・仕分けなどの活動。

WE ショップ
販売・仕分け・広報などの活動。お気軽にご参加ください。

寄付品 のお願い

ご家庭のまだキレイな衣類や日用雑貨をお近くの「WE ショップ」へご寄付ください。販売収益をアジアを中心とする民際協力・国内支援に活用しています。
※遠方の方は WE21 ジャパンまでご連絡ください。

企業・団体 の方へ

衣類・日用雑貨の寄付、職場でのバザー、講座開催、イベント協賛・後援などに関心のある企業・団体の方は WE21 ジャパンまでご連絡ください。

問い合わせ先 WE21 ジャパン TEL 045-489-4223
Mail info@we21japan.org

※WE21 ジャパン地域 NPO が WE ショップを運営しています。

たくさんのご協力をありがとうございます

2021年4月～2022年3月分
全国の皆様からの物品寄付 **総数 77,962 件**

WE21 ジャパンのミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に拡げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできる事から実践します。

あなたの街の WE ショップ

ショップ名	TEL
たかつ店	044-829-5238
たま店	044-945-2427
あさお店	042-331-4919
すみだ店	03-6657-3035
あおば青葉台店	045-982-5581
あおばあざみ野南店	045-915-9606
かながわ六角橋店	045-633-1537
かながわ大口店	045-435-2258
ほどがや星川店	045-334-5140
ほどがや天王町店	045-333-6336
旭店	045-364-3277
みどり店	045-937-2656
つるみ店	045-573-3235
つづき店	045-948-5596
こうほく大倉山店	045-547-6241
こうほく日吉店	045-563-1808
いずみ中田店	045-802-0095
いずみ領家店	045-813-7739
いずみ萩丸店	045-801-8965
いそご磯子店	045-761-3198
いそご洋光台店	045-832-3508
かなざわ店	045-788-4248
とつか店	045-866-0088
さかえ店	045-895-7009
みなみ井土ヶ谷店	045-715-4410
ほんもく店	045-232-4082
よこすか北久里浜店	046-837-1788
横須賀中央店	046-822-0075
ひらつか代官町店	0463-22-5258
ひらつか旭店	0463-33-2022
にのみや店	0463-71-4421
藤沢店	0466-24-6002
鵠沼海岸店	0466-37-4621
ちがさき店	0467-88-6015
おだわら竹の花店	0465-23-2909
さむかわ店	0467-75-8141
おおいそ店	0463-51-6481
厚木１号店	046-296-2555
相模原若松店	042-744-9799
相模原南台店	042-746-5571
えびな店	046-235-4047
やまと店	046-269-1343
ざま相武台店	046-258-3550
いせはら店	0463-96-5752
あやせ店	0467-78-8178

WE21 ジャパン News No.82 2022 年 12 月 19 日発行

認定 NPO 法人 WE21 ジャパン 発行責任者 海田祐子
〒240-0003 神奈川県横浜市保土ケ谷区天王町 1-1-1 天王町ファーストビル 202
Tel 045-489-4223/Fax 045-489-4224 E-mail：info@we21japan.org HP: https://we21japan.org/
5,000 部 頒価 200 円 印刷：株式会社大川印刷 デザイン・制作：企業組合エコ・アド

FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤０％）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO_2 全量をカーボンオフセット（相殺）した「CO_2 ゼロ印刷」で印刷しています。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009309 www.fsc.org
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
GREEN PRINTING JFPI P-B10164
ZERO® CO2 PRINT
VOC FREE™